

---

# 大池福祉自主防災 「地域おたすけガイド」 (地区防災計画)

---

1. 運営本部の設置基準 .....	1
2. 活動方針 .....	1
3. 役員参集場所等一覧 .....	2
4. 風水害の対応 .....	3
5. 地震の対応 .....	6
6. 防災資機材庫リスト .....	8
7. 参考：警戒レベルチャシ .....	11

2023年1月作成

- (1) 「地域おたすけガイド」は、地域の皆さんが災害時に活動する際に、活用するマニュアルです。災害時は、周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分たちのできる範囲で活動を行うことが大前提です。
- (2) この「地域おたすけガイド」に記載している内容は完全ではありません。訓練を通して繰り返し検証して、地域に適したガイドにするために、どんどん見直していきましょう。

## 1. 運営本部の設置基準

### 【風水害時】

- ・ 台風や大雨による被害が発生する恐れがあり、本部設置が必要と判断した場合
- ・ 神戸市から避難情報（警戒レベル3「高齢者等避難」以上）が発表されており、地域内の住民から避難支援の要請があった場合
- ・ 警戒レベル3「高齢者等避難」以上の避難情報発令で役員は自宅待機
- ・ 台風や大雨による被害が発生し、活動上の危険がないと判断した場合

### 【地震時】

- ・ 震度5弱以上の地震が発生した場合、又は地震による被害が拡大する恐れがある場合

## 2. 活動方針

阪神・淡路大震災の教訓で、近隣の方々に助けあうことはとても重要です。周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分達の出来る範囲で防災活動を行いましょう。

### 3. 役員参集場所等一覧

運営本部	大池地域福祉センター（ブロック本部兼務）				
ブロック本部 ⇒（集合場所）	ブロック本部	（集合場所）			
	有野町大池自治会	⇒（大池地域福祉センター）			
	新大池自治会				
	みどり台自治会				
	山田大池自治会				
	六甲が丘自治会	⇒（六甲が丘自治会館）			
	コスモ神戸六甲ヶ丘理事会	⇒（マンション内集会所）			
	大池古々山自治会	⇒（西大池住宅第4集会所 及び 第5集会所）			
	ルナ北六甲台自治会				
	西大池北自治会				
	西大池住宅自治会				
防災資機材庫	大池地域福祉センター （屋外防災倉庫）	有野町大池自治会内			
	六甲が丘（自治会館内）	大池古々山公園			
	コスモ神戸六甲ヶ丘	西大池住宅第2集会所横			
緊急避難場所 （屋内）	名 称	土砂	洪水	備考	避難所
	大池中学校	○	○	体育館	○
	大池小学校	○	○	体育館 3階	○
	六甲が丘会館	○	○		○
緊急避難場所 （屋外）	今後検討				
防災行政無線	大池地域福祉センター（屋内）、東大池公園内（屋外）				
神戸市災害 テレホンセンター	<b>0570-078-500</b>				
	避難情報、防災行政無線の内容などをお知らせします				
その他	ふっQすいせん：大池小学校中庭 （ホース・蛇口・取付器具1式：開放教室1F）				

北区役所 8時45分～17時30分 078-593-1111（代表）  
 17時30分～翌8時45分（夜間帯）及び土日祝 078-593-9888  
 北消防署 078-591-0119 北消防署山田出張所 078-581-0119

## 4. 風水害の対応

は、その行動が完了したらをつける

### 【災害発生前】

#### ➤ 個人の行動（安全確保と情報収集）

- ラジオやテレビなどで災害情報を確認する
- 非常持ち出し袋など準備をして避難に備えておく
- 危険個所や避難所への経路を確認しておく
- 避難に時間のかかる方は、警戒レベル3（高齢者等避難）で避難を始める
- 土砂災害警戒区域の方はできるだけ避難所へ行く（親戚や知人宅等へ行くのも有効）

#### ➤ 大池福祉自主防災としての活動

##### ① 自主防災運営本部の立ち上げ

- 天候などの状況に応じ、統括防災リーダー（防コミ会長または代理）が自主防災運営本部の設置場所やメンバーの招集方法を決め役員などに連絡をする
- 統括防災リーダーは、災害活動の班編成を行う（班編成は自主防災規約第5条を運用）
- 本部に地域の地図、防災マップなどを配置する。またメンバーで情報を共有するためホワイトボードや筆記用具を準備する

※ 本部を会長宅に設置するなど、連絡は電話・メールなどで取り合う

※ 状況に応じて臨機応変に対応する

##### ② 情報収集・伝達（情報班、避難誘導班）

- 防災行政無線、ラジオ、テレビ等から気象情報、避難情報、土砂災害警戒情報等を集める
- 情報伝達の手段や順番（誰が誰にどのように伝えるのか）をあらかじめ整理しておく
- 収集した情報は、有線電話、携帯電話等により、ブロック（自治会）に伝える
- 洪水や土砂災害の危険性が予想される場合は、災害時要援護者に早期の自主避難を呼びかける。また、各ブロックの活動班による災害時要援護者避難誘導が実施できるような体制を整える（人員確保）

##### ③ 資機材等の確保（情報班）

- 災害発生時に備えて、防災資機材等の準備をする（6. 防災資機材庫リスト参照）

#### ④ 災害時要援護者の避難支援（救出救護班）

- 支援の要請があった場合や洪水や土砂災害の危険性が予想される場合、避難支援方法を検討し、避難支援者の割り振りを行う
- 避難支援要請があった住民や警戒区域内の災害時要援護者に対し避難支援を行う

### 【災害発生直後】

#### ① 運営本部による指揮

- 防コミ運営本部が立ち上がっていない場合は、【災害発生前】と同様の方法で防コミ運営本部を立ち上げ、統括防災リーダーは班編成を行う
- 地区内の被害情報を収集し、被害状況に応じて、活動内容の具体的指示（情報収集・伝達、安否確認、被災者の救出・救護等）を出す

#### ② ブロック毎の災害対応

- 防災活動が可能な場合は、対応すべき災害に応じた活動班を編成し防災活動を行う
- 被害状況に応じて本部に応援を求める

#### ③ 情報収集・伝達（情報班）

- 防災行政無線、ラジオ、テレビ等から気象情報、避難情報、土砂災害警戒情報等を集める
- 各地区内の被害状況や住民の安否等の状況調査を行う（天候などの状況に応じ、危険のない範囲で行う）
- 指定されたブロック本部に地域内の役員が集まる
- ブロック長は、消火や救助など対応すべき災害に応じた班構成をする
- 災害現場で、資機材の数が足りない、人員が足りない場合は近隣の住民にメガホンなどを使用して協力をお願いする

#### ④ 安否確認（情報班、救出救護班、避難誘導班）

- 民生・児童委員等と協力して、災害時要援護者の安否確認及び自治会ごとに全戸の安否確認を行う（天候などの状況に応じ、危険のない範囲で行う）

## ⑤ 救出・救護（救出救護班）

- 被害状況を確認し、119（消防）へ救助要請する
- 二次災害に注意しながら、防災資機材等を活用し、被災者を救出する
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施する
- 傷病者を医療機関まで搬送する

## ⑥ 区役所や消防署への連絡（情報班）

- 被害状況、活動状況等を区役所や消防署に連絡する
- 緊急避難場所、避難所運営で必要な事項を区役所等へ伝える
- 区役所や消防署と情報共有する

## ⑦ 緊急避難場所・避難所の開設（避難誘導班）

- 学校関係者や区役所職員と協力し避難所等の開設支援をする

## ⑧ 数時間後～3日（72時間）ぐらいまで

- 大池福祉自主防災の役員の集結状況や災害の状況に応じて役割を見直す
- パトロール班を結成し、交代で地域内のパトロールを行う

### 〈参考〉

情報の取り方（もしパソコン・スマホをお持ちなら、以下の「」を検索してください。）

- 1 「くらしの防災ガイド」 平常時から確認  
「くらしの防災ガイド」と検索すると、各区版ハザードマップが閲覧できます。
- 2 「ひょうご防災ネット」 平常時から確認  
警報、注意報などをお知らせする携帯電話メールサービスで事前に登録が必要です。

「ひょうご防災ネット」QRコード



QRコード

「ひょうご防災ネット」は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を提供するサービスです。

## 5. 地震の対応

は、その行動が完了したらをつける

### 【災害発生後】

#### ➤ 個人の行動（安全確保と情報収集）

- 地震の揺れを感じたら、まず、丈夫なテーブルの下に隠れるなど身の安全を確保する
- 火を使用している場合は、可能な限り火を止める
- 家族の安全を確認する
- 火災が発生すれば消火器等で初期消火を行う
- ラジオなどで情報を確認する

#### ➤ 大池福祉自主防災としての活動

##### ① 自主防災運営本部の立ち上げ

- 本部に役員が揃わない場合、集まったメンバーで本部を立ち上げる
- 本部に駆けつけた役員の中から統括防災リーダーを決定する
- 統括防災リーダーは集まってきたメンバーで、災害活動の班編成を行う（班編成は自主防災規約第5条を運用）
- 各ブロックの情報収集をする
- 各ブロックの状況に応じて、人員・資機材の支援など調整を行う
- 本部に地域のマップ等を配置、集まったメンバーで情報を共有するためホワイトボードや筆記用具を準備する
- 地区内の被害情報を収集し、被害状況に応じて、活動内容の具体的指示（情報収集・伝達、安否確認、被災者の救出・救護等）を出す

##### ② ブロック毎の災害対応

- 防災活動が可能な場合は、対応すべき災害に応じた活動班を編成し防災活動を行う
- 被害状況に応じて本部に応援を求める

##### ③ 情報収集・伝達（情報班）

- ラジオ、テレビ、防災行政無線のほか、スマホやパソコン等も活用し、必要な情報（地震情報、避難情報、気象情報など）を収集する
- バイクや自転車などを活用し、地域内の情報（被害状況など）を収集する
- 収集した情報はホワイトボード等に時系列で記載する
- 情報を伝える手段として、トランジスタメガホン、広報掲示板、回覧板も効果的に活用する

\* 地震時は有線電話、携帯電話は使用できない可能性があります

## 6. 防災資機材庫リスト

(防災本部) 大池地域福祉センター

鍵保管者：会長

品名	数量	品名	数量
ヘルメット	10	チェーンソー	2
トラロープ	2	チェーンソー ズボン(保護衣)	2
三角巾	50	草刈り機	1
広報拡声器	1		

(六甲が丘自治会)

鍵保管者：自治会館事務局

品名	数量	品名	数量
布バケツ	11	腕章防犯パトロール有馬防犯協会	1
粉末消火器	35	腕章パトロール(緑/白)	2
折りたたみ担架	1	防犯タスキ「防犯パトロール」	5
ヘルメット	6	防犯帽子(みどり)	21
スコップ	9	小型懐中電灯	2
バール(L:1,200mm)	6	強カライト	10
とび口(L:1,050mm)	2	拡声器	2
簡易ジャッキ	2	メガホン	1
救助用ロープ	8	ホイッスル(笛)	3
ハンマー	3	誘導灯	5
オノ	1	コーン	20
サルベージシート	1	コーンウエイト	20
腕章(六甲が丘自治会緑)	25	コーンバー	9
腕章防犯・有野防犯協会黄色	5	通行止め鉄柵	2
腕章防犯防火六甲が丘自治会緑	3	ブルーシート	13
腕章自主防災赤文字	7	三角巾	32
腕章大池福祉自主防災	6	柏子木	12

#### ④ 安否確認（情報班、救出救護班、避難誘導班）

- 住民の安否確認を行う（民生・児童委員などと協力）
- 倒壊家屋等では、近所の住民から安否情報を集める
- 収集した安否確認情報を集約し整理する

#### ⑤ 消火活動（消火班）

- 出火場所を確認し、119（消防）へ連絡する
- バケツや近所の消火器などを活用し初期消火を行う
- 火災が延焼拡大した場合は、風上の広い公園等の安全な場所に住民を避難誘導する（メガホン等を活用）

\* 火災の規模によっては消火器やバケツリレーでの消火も重要です

#### ⑥ 救出・救護活動（救出救護班）

- 二次災害に注意しながら、防災資機材を活用し、負傷者を救出する（ジャッキやバー、のこぎりが有効）
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施する
- 傷病者を医療機関や救護所まで搬送する

#### ⑦ 救護所の設置（救出救護班）

- けがの手当てができるよう救護所を設置する
- 資機材の応急セットやご近所から救急箱を提供してもらう
- 近隣の医療機関の応援を求める

#### ⑧ 避難所の開設（避難誘導班）

- 学校関係者や区役所職員と協力し避難所の開設支援をする

#### ⑨ 数時間後～3日（72時間）ぐらいまで

- 大池福祉自主防災の役員の集結状況や災害の状況に応じて役割を見直す
- パトロール班を結成し、交代で地域内のパトロールを行う

(有野町大池自治会)

鍵保管者：会長

品名	数量	品名	数量
布バケツ	20	誘導灯(赤色)	4
折りたたみ担架	3	懐中電灯	2
とび口	7	笛	4
救助用ロープ(巻)	5	コーン	4
ロープ	2	コーンバー(白黒)	3
腕章	9		

(大池古々山自治会)

鍵保管者：

品名	数量	品名	数量
液体消火器	4	防災腕章	5
強化液体消火器	4	防犯エコピカ広角チョッキ	5
布バケツ(10リッター)	11	防災帽子	3
赤い布(けが人用)	6	防災服	4
折りたたみ担架	2	携帯用ライト(赤色)	5
ヘルメット(白色)	6	トランジスターメガホン・マイク	1
スコップ	9	広報拡声器	1
ボール	3	誘導灯	17
とび口	2	懐中電灯(小)	5
はしご兼用脚立	1	笛	3
簡易ジャッキ	2	ゴム手袋	10
台車(500×800mm)	1	軍手	5
救助用ロープ	1	コーン	4
三角巾・包帯	6	ウエイト	4
ナイロン	未確認	コーンバー	2
防犯腕章(みどり)	4	収納庫(中)	1
防犯タスキ	2	柏子木	5
防犯帽子(SAFETY)	3		

(コスモ神戸六甲ヶ丘管理組合)

鍵保管者：

品名	数量	品名	数量
粉末消火器	1	メガホン	1
ヘルメット	4	広報拡声器	1
スコップ	3	懐中電灯	1
脚立	1	ゴム手袋	5
台車	1	軍手	5
ロープ	1	コーン	10
腕章	2	コーンウエイト	10
誘導灯(赤色)	2	コーンバー(白黒)	10

(西大池住宅自治会)

鍵保管者：

品名	数量	品名	数量
液体消火器	3	誘導灯(赤色)	3
粉末消火器	5	広報拡声器	1
折りたたみ担架	2	懐中電灯	2
ヘルメット	10	軍手	1
パール	1	コーン	4
ロープ	1	コーンバー(白黒)	2
ツルハシ	2	トランシーバー	2
ハンドマイク	1	発電機	2
ジャンパー	4	油入れ缶(小)	1

(ルナ自治会)

鍵保管者：個人持ち回り

品名	数量	品名	数量
誘導灯(赤色)	1	軍手	36

7. 参考：警戒レベルチャリシ

## 令和3年5月20日から

警戒レベル  
**4**

ひなんしじ

# 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

# 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
<b>5</b>	 <p>災害発生又は切迫</p> <p style="text-align: center;">きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
<b>4</b>	 <p>災害のおそれ高い</p> <p style="text-align: center;">ひなんしじ <b>避難指示</b>※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
<b>3</b>	 <p>災害のおそれあり</p> <p style="text-align: center;">こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
<b>2</b>	 <p>気象状況悪化</p> <p style="text-align: center;">大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
<b>1</b>	 <p>急激な気象状況悪化のおそれ</p> <p style="text-align: center;">早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ着段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

**避難勧告は廃止**されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
**危険な場所から全員避難**  
しましょう。

避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難**で  
**危険な場所から避難**  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

# 大池防災マップ

2022年12月作成

凡例		凡例 (ハザードマップ)	
	緊急避難場所		土砂災害警戒区域<がけ崩れ>
	指定避難所		土砂災害警戒区域<土石流>
	防災資機材庫		土石流危険渓流
	防火水槽 (消防専用)		土砂災害警戒区域<地すべり>
	防火水槽 (100t)		土砂災害特別警戒区域<がけ崩れ>
	ポンプ		土砂災害特別警戒区域<土石流>
	応急給水拠点		浸水想定区域 5.0m以上
	いつでもじゃぐち		浸水想定区域 3.0m~5.0m
	ふっQすいせん		浸水想定区域 0.5m~3.0m
	防災行政無線		浸水想定区域 0.5m未満
	防災行政無線 スピーカー		浸水想定区域 (内水氾濫)
	消防団詰所		道路冠水危険箇所
	警察署		雨水管が溢れた箇所
	消防署		
	屋外公衆電話		
	AED		
	大きな病院		
	コンビニ		
	地域境界線		

